

## 第5回新潟市花育推進委員会 会議速報

平成23年2月18日ホームページ掲載

日時	平成23年2月16日(水)午後2時～午後4時30分
会場	新潟市役所白山浦庁舎7号棟405会議室
出席委員	伊藤委員、今西委員、加藤委員、楠田委員、杉山委員、関委員、真木委員 丸山委員、森田委員、四柳委員
傍聴者	1名
事務局	野中農林水産部長 園芸センター(永田所長、戸田副主査、木村技師) 関係課 農村・都市交流施設整備課(加藤課長補佐、本間主査) 食と花の推進課(佐久間主査) 食育・健康づくり推進課(和田副主査) 公園水辺課(渡辺係長) 保育課(風間指導保育士)

### 概要

#### 1 平成22年度花育推進事業実績について

【資料1～2】

##### (事務局説明)

- 資料を基に、平成22年度の事業実績について説明。

##### (主なご意見)

<全ての園児・児童が参加している保育園、幼稚園、小学校の割合が昨年度に比べ半減していることについて>

- 新しい学校指導要領への移行期間の中で、学校の授業数が増えたことや、新しい指導要領へ対応する計画づくり等、教職員の負担増の中で、学校あがての花育活動の実施が難しい状況である。
- この指標にはこだわらなくても良いのではないかと。少しでも花育に取り組む学校の数が増えれば良いのではないかと。数値目標の見直しも必要ではないかと。

<生産現場の花育活動の登録、生産現場との交流について>

- 新潟市食育・花育センターという拠点施設ができれば、その発信力を活かして生産者も取り組みやすくなる。
- 生産現場をからめた事業についても、参加しやすい内容で実施すべき。
- 拠点施設ができ、花育の窓口が1本化すればわかりやすく、取り組みやすい。

- ・ 花育の生産現場の登録や花育マスターというと生産者は気後れする場合もある。
- ・ まずは、各区の生産現場を見るツアーを実施し、地域のものを知ることからはじめるのも大事。

## 2 平成 23 年度花育推進事業について

### 【資料 3】

- ・ 資料を基に、平成 23 年度の主な取り組み計画について説明

(主なご意見)

<花育マスター制度について>

- ・ 目標については、100名が妥当か見直しも必要。
- ・ 人数にとらわれすぎず、花育マスターの専門分野のバリエーションを増やしたり、地域毎にバランス良く登録することが大事。
- ・ それぞれの地域で必ず指導者がいるので、地域にいる人材を発掘すべき。

<その他>

- ・ 生産現場との交流については、中学生の職業体験の場にしてはどうか。
- ・ 花の歴史や環境に優しい花について力を入れてほしい。
- ・ 市で既に実施している環境保全に係る花育事業を積極的に市民にPRすべき。

## 3 新潟市食育・花育センターについて

### 【資料 4】

- ・ 資料を基に、新潟市食育・花育センターの施設概要について説明

(主なご意見等)

- ・ アトリウムは是非、イベントにも活用してほしい。
- ・ 情報展示の関連で、農育を入れてほしい。
- ・ 7月下旬のオープンまでに準備的なものを設け、PRしてほしい。
- ・ 癒し、メンタルケアなど、発想を大きく持って活動を展開してほしい。

## 会議資料

- 次第
- 座席表
- 資料 1 平成 22 年度花育推進事業実績一覧
- 資料 2 新潟市花育推進計画数値指標 現状値一覧
- 資料 3 平成 23 年度花育推進事業の主な取り組み
- 資料 4 新潟市食育・花育センターの施設概要

■ その他 平成22年度花育マスター制度まとめ

**次回開催等**

- 平成23年3月末で現在の新潟市花育推進委員の任期が終了。
- 次回は、新体制で平成23年5月に開催予定。